

## 講演2(要旨)

# 情報学教育の新たな地平を目指して

筧 捷彦

早稲田大学理工学術院教授

21世紀の世界において情報学が大きな役割を果たすこと、果たさなければならないことは、はいよいよ誰の目にも明らかになってきている。地球規模で起きている変化を捉え、解析し、解決の道を探り、具体的な方策をとったときに起こりうることを予測することは、情報学がもたらす科学技術があつて初めて可能になった。今後とも、あらゆる分野の学問とともに情報学が発展していくことが求められている。当然のこととして、情報学教育もまた発展していくことが不可欠である。

しかしながら、情報学があらゆる学問分野に関係し、あらゆる人間活動に関係するだけに、情報学教育を推し進めるのに何をどのようにするべきかについて百家争鳴となることも必然であり、現にその様相を呈している。その争鳴が、分野をまたがる、情報学教育での協働と融合と創生に至ることを期待したい。今回のフォーラムでは、その端緒となるべく議論が行われ、参加者の間で一定の方向づけが共有されることを目指したい。